

科目名	インターンシップ		英文表記	Internship		2017/3/7	
科目コード	4301				作成		
教員名: 4年担任・副担任							
技術職員名:							
対象学科/専攻コース			学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態
メディア情報工学科			4年	必	履修	3単位	講義
授業期間			通年				
科目目標 【MCC目標】	① 座学や実験などで学んだ知識が社会活動にどのように関わっているかを研修/実習を通して理解する。 ② 研修/実習を通して、自分自身の現状を理解し、仕事への適性を考えることができる。 ③ 研修/実習を通して、社会活動を円滑に進めるために必要な要素・能力・知識を認識する。 ④ 企業における多様な価値観を認識することができる。 【6-3-1 VII-A】インターンシップ: 企業における多様な価値観や自身の将来像を認識し、仕事への適性を判断することができる						
総合評価	各学生の作成するインターンシップ報告書・日報(50%) インターンシップ発表と資料(25%) 企業研究などの提出物(25%)						
科目達成度目標	目標割合	科目達成度目標	達成度目標の評価方法	ルーブリック			
				理想的な到達レベル(優)	標準的な到達レベル(良)	最低限必要な到達レベル(可)	セルフチェック
	50%	① 座学や実験などで学んだ知識が社会活動にどのように関わっているかを研修/実習を通して理解する。(C-1)	インターンシップ先企業からの評価書、各学生の作成するインターンシップ報告書、企業研究などの提出物、インターンシップ発表で評価	高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が企業などでどのように活用・応用されているかを理解できる。	高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が企業などでどのように活用されているかを理解できる。	研修/実習を通して、仕事の内容や進め方を理解することができる。	
	25%	② 研修/実習を通して、自分自身の現状を理解し、仕事への適性を考えることができる(C-1)	インターンシップ先企業からの評価書、各学生の作成するインターンシップ報告書、企業研究などの提出物、インターンシップ発表で評価	研修/実習を通して、自分自身の現状を理解し、仕事への適性を考え、行動することができる	研修/実習を通して、自分自身の現状を理解し、仕事への適性を理解することができる	研修/実習を通して、自分自身の現状を理解することができる	
25%	③ 研修/実習を通して、社会活動を円滑に進めるために必要な要素・能力・知識を認識する(C-1)	インターンシップ先企業からの評価書、各学生の作成するインターンシップ報告書、企業研究などの提出物、インターンシップ発表で評価	研修/実習を通して、社会活動を円滑に進めるために必要な要素・能力・知識を認識することができる	研修/実習を通して、社会活動を円滑に進めるために必要な要素・知識を認識することができる	研修/実習を通して、社会活動を円滑に進めるために必要な要素を認識することができる		
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4	<本科教育目標> (3) 専門的基礎知識を理解し、自ら学ぶことのできる人材を育成する		
	○	○	◎				
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合							
評価項目	目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題・発表・実技・成果物)	総合評価	セルフチェック
基礎的理解	①②	0	0	90	10	100	
応用力(実践・専門・融合)	③			30	10	30	
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)	③			20	10	30	
主体的・継続的学修意欲	①②③			10	30	30	
授業概要、方針、履修上の注意	・学校教育と研修/実習の結合により学習効果および学習意欲の向上を図り、高い職業意識を育成し、自主性・独創性のある人材の育成を目指す。 ・各種企業・官公庁等での実習(体験)により、修得した専門知識や技術に裏打ちを与えたり、実社会で必要な素養・能力・価値観の必要性を体験・自覚させ、実社会の生きた知識を身につける。 ※ 受け入れ先企業の中での体験学習であるため、服装やマナーに関しては十分な注意が必要である。 ※ 対面時間(45分×30週:30単位時間)、研修/実習の日数は原則5日間(土日休日除く、5日×1日8時間勤務=40時間:53単位時間)、各自の取り組み(6時間以上:7単位時間以上)とします。 ※ 企業によってインターンシップ日数に違いがあるため、研修/実習時間が40単位時間に満たない場合は、事前・事後の企業研究等と課すことによって単位時間を満たすことがあります。						
教科書・教材	教員が配布する資料 企業から配布される資料 その他インターンシップに関わる資料・新聞情報など						

授 業 計 画

週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習) 内容	セル フ チ ェ ッ ク
1	ガイダンス・インターンシップ導入の背景と目的, 企業研究(社会活動を理解する)	11	1. インターンシップの進め方の説明を行う	志望理由 企業研究レ ポート エントリー シート 履歴書など	
2			2. 受入可能企業リスト作成		
3			3. インターンシップ企業希望調査		
4			4. 企業のマッチング		
5			5. エントリーシートや履歴書の書き方		
6			6. インターンシップに向けての心得など		
7			【6-3-1 VII-A:1-1】企業等における技術者の実務を理解できる。 【6-3-1 VII-A:1-4】企業における社会的責任を理解できる。 【6-3-1 VII-A:1-5】企業活動が国内外で他社(他者)とどのような関係性を持つかを理解できる。		
11					
12	インターンシップにおける講習会	4	ビジネスマナー・メイクアップセミナー講習会		
13			【6-3-1 VII-A】インターンシップ: 企業あるいは技術者・研究者が持つべき仕事への責任を理解できる。		
14	インターンシップに向けた各自の取組	7	事前課題、企業研究ノートなど 【6-3-1 VII-A】インターンシップ		
15	インターンシップ	53	夏季休業中に最低5日間(8時間/日)以上実施する ①実務を経験する ②高専での授業の関連性を理解する ③仕事の進め方を考え、自ら行動し、適性を考える ④企業の社会的責任を理解する 【6-3-1 VII-A:2-2】企業人として活躍するために自身に必要な能力を考慮することができ、それを高めようと努力する姿勢をとることができる。 【6-3-1 VII-A:3-1】実際の企業人等との仕事を通して自身のキャリアデザインを明確化することができる。	企業における業務日誌の作成、企業内での研究報告会およびその準備	
期末	期末試験	[2]	なし		
16	成果報告と準備	3	インターンシップ報告書の作成と発表 【6-3-1 VII-A】インターンシップ	本校におけるインターンシップ報告書の作成・報告会の準備	
17	キャリア教育	12	1. 業界研究会	エントリーシート 企業研究ノートなど	
18			2. SPI		
19			3. 進路選択		
20			4. エントリーシート・履歴書の書き方など		
21			【6-3-1 VII-A】インターンシップ		
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
期末	期末試験	[2]	なし		
学習時間合計		90	実時間	67.5	
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間	
①	企業研究によるレポート			各2時間×15回	
②	企業研修中の業務日誌の作成			各2時間×5回	
③	本校におけるインターンシップ報告書の作成・報告会の準備・進路に関する検討			各2時間×15回	
備考欄					
<p>(各科目個別記述)</p> <p>・この科目の主たる関連科目は産業創造セミナー、沖縄高専セミナー、長期インターンシップ、グローバルインターンシップである。</p> <p>・モデルコアカリキュラムは:【6-3-1 VII-A】インターンシップ</p> <p>・学位審査基準の要件による分類・適用</p> <p>「関連工学及び周辺技術等に関する科目」: グローバルインターンシップ(専2)・長期インターンシップ(専1)です。</p> <p>その他必要事項は各コースで決める。</p>					